

【360度全景撮影】スタンド型ドライブレコーダー

型番: CAR360-TF-3SB

特徴

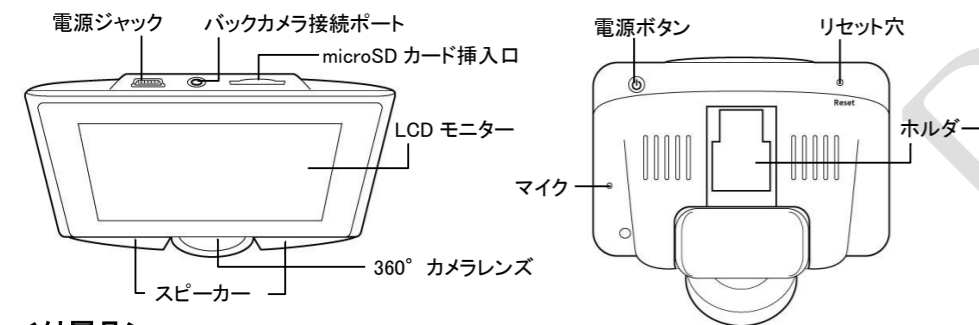
- ◎360度全景撮影
- ◎高画質録画
- ◎駐車監視モード
- ◎タッチパネル操作
- ◎3インチ大型LCDモニター
- ◎エンジン連動
- ◎4つの表示方式
- ◎バックカメラ付き

使用上のご注意

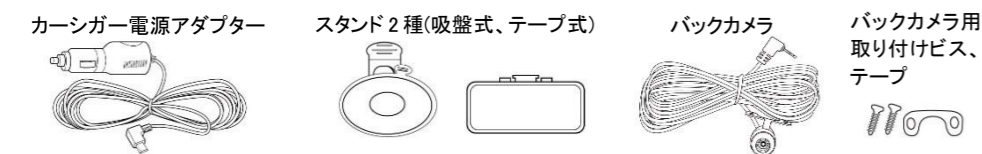
※ご使用前に使用上のご注意をよくお読みの上、正しくお使いください。

- 異常現象(煙、異音、異臭など)が発生した場合は、すぐに電源を抜いて製品サポート又は販売元まで連絡下さい。
- 機器を開けたり、製品を改造しないでください。
- お客様による修理は火災や感電、故障の原因となりますので、絶対におやめください。
- 機器を落としたり、強い衝撃を与えないでください。
- 異物、油滴、液体を入れないで下さい。火災や感電、故障の原因となります。
- 下記のような場所でのご使用・保管はしないでください。
 - 油煙や湯気が直接当たる場所や熱器具、加湿器の近く。
 - 湿気やほこりの多い場所。
 - 炎天下や高温な環境。
 - 可燃性ガスのある環境。
- サンシェードをご使用の場合は、本機をフロントガラスとサンシェードの間に挟みこまないでください。高温になり、故障や火災の原因となることがあります。
- 濡れた手で操作しないでください。感電の恐れがあります。
- 運転中は走行中に操作や画面を注視しないで下さい。
- バックモニターとしてご使用の際は、後方や周囲の状況を目視やミラーでご確認ください。
- 本機を長時間使用しない場合は、本体から電源コードを抜いてください。
- 本機の取り付けは確実に行ってください。また、不安定な場所に設置しないでください。落下してケガや事故の原因となる恐れがあります。
- 本機をフロントガラスに設置する場合、フロントガラスの上部から 20%以内の場所に取り付けてください。また検査標準(車検ステッカー)等に重ならないよう設置ください。
- エアバック付近は本機の取り付け及び配線コードがエアバックの動作の妨げにならないようにしてください。エアバックが動作した際、ケガをする恐れがあります。
- 電源コネクタや端子の汚れは綺麗にふき取ってから接続してください。また接続は確実に差し込んでください。接続が不十分だと動作不良、火災や感電の原因となることがあります。
- 事前に試し撮りをして画像をご確認ください。
- 撮影データに関しては一切の責任を負いかねます。他者の著作権、肖像権等を侵害しない範囲でご使用ください。
- ▲ 急激な明るさの変化は録画品質が一時的に落ちます。
- ▲ ノイズ対策を行っていますが、他の電子機器と電波干渉する場合は設置場所を変えてみて下さい。
- ▲ 機器の動作が異常な場合は、リセット操作を行ってください。
- ▲ microSD カードの取り出しは、電源をオフにしてから行ってください。
- ▲ microSD カードは定期的に初期化(フォーマット)をしてください。
- ▲ microSD カードは消耗品です。年に1回以上の交換を推奨します。
- ▲ この機器は日本国内専用です。保証は国内に限り有効です。
- ▲ 本機器は防塵、防水仕様ではありません。(バックカメラの本体部は防水仕様です。)

1. 各部の名称



<付属品>



2. 準備

1) カメラ本体の充電する

※初めて使用する際、充電が足りないと動作不良を起こす場合があります。

カーシガー電源アダプターを本体の電源ジャックに接続し、本体を電源 OFF の状態で3時間以上充電してください。

2) microSD カード(別売)の準備

対応 microSD カード

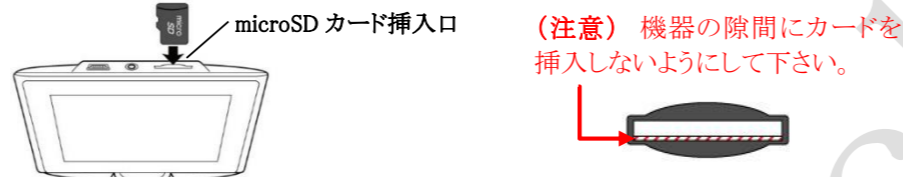
記録メモリ	容量	スピードクラス
microSDHC	4GB~32GB	クラス 10 以上

重要

microSD カードは消耗品です。
3ヶ月に一回程度の初期化(フォーマット)、年に1回以上の交換を推奨します。

3) microSD カードを挿入する

microSD カード挿入口に、microSD カードの金属端子面が LCD モニターと反対側に向くように挿入してください。



- ・カードの取出しは再度カードを押すと出てきます。
- ・本機器で録画されたデータ以外はカードに記録しないで下さい。

4) microSD カードを初期化(フォーマット)する

- ① カーシガー電源アダプターを車のカーシガーソケットに挿入し、本体の電源ジャックに接続し、電源を入れます。
- ② 画面をタッチして、[設定] > [フォーマット] > [確定] で microSD カードのフォーマットを実行してください。
※設定画面の表示・操作方法は、第6項をご参照ください。

5) 事前確認 ※必ず行ってください。

- ① 画面に前方・車内・後方カメラの映像が表示されるかご確認ください。
- ② 数十秒間試し撮りを行い、正常に録画ができていないかご確認ください。同時に録画データの再生動作もご確認ください。
- ③ 設置前に車内でカーナビ等他機器に影響がないかご確認ください。

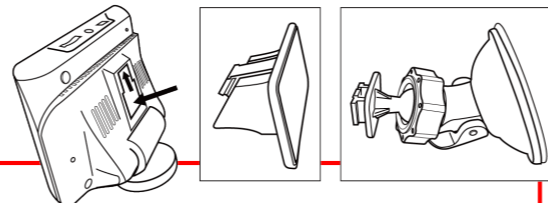
6) 時刻設定

- ① [設定] > [日時/時刻] で時刻設定画面を表示させます。
- ② 変更したい項目をタップして赤く表示させ、時刻を画面上にある [] で設定します。

3. ドライブレコーダーを取り付ける

1) 本体を取り付ける

吸盤またはテープ式スタンドを本体のホルダーに差込み、フロントガラスにしっかりと貼り付けてください。



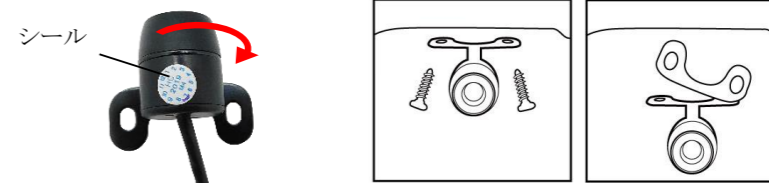
取り付けの注意

- 取り付ける前に、フロントガラスの汚れや油分をふき取ってください。
- フロントガラスの上部 20%の範囲内に設置してください。
- 視界や運転、エアバックの動作の妨げにならないよう設置してください。
- 検査標準(車検ステッカー)等に重ならないように設置してください。
- 綺麗な映像を録画する為に、ワイパーの可動範囲内がおすすめです。

※LCD 画面と 360° レンズには保護フィルムが貼られていますので、ご使用前にはがしてください。

2) バックカメラを取り付ける

付属のビス又は両面テープで車体または室内後方に取り付けてください。カメラを回転させて撮影向きを調節ができます。※シールが貼ってある方が下です。

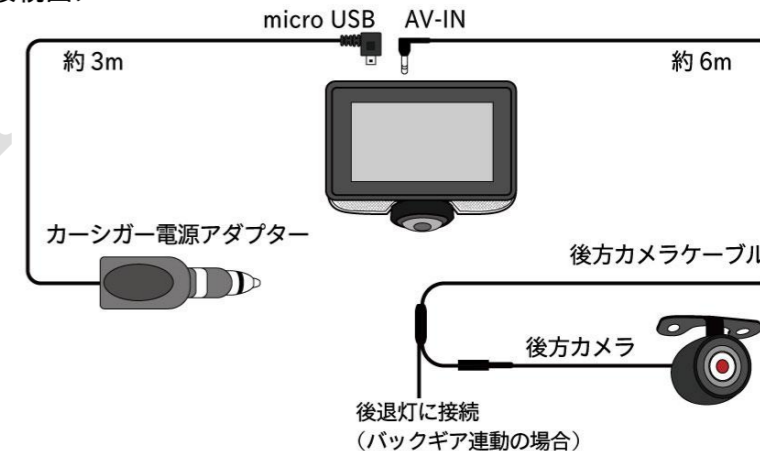


付属のビスまたはシールで固定します。

3) 配線を接続する

配線経路は車種により異なりますので、ご不明の場合はカーディーラー等にお問い合わせください。

<配線接続図>



4) レンズの向きを調節する

電源を入れ、映像を見ながら 360° カメラ(主カメラ)及びバックカメラの方向を調節ください

バックギアと連動させる場合

後方カメラ接続ケーブルの赤(電源プラス線)と車の後退灯(バックランプ)を接続するとバックモニターとしても働きます。

電源との接続について

※カーシガー電源アダプターをシガーソケットにさし、使用時は常時電源を供給ください。
※車種によってカーシガーソケットから電源を常時供給している場合は、降車時に電源ケーブルを抜いて下さい。また、車にカーシガーソケットが無い場合は別売のヒューズ BOX 接続アダプターを使用し、ヒューズボックスから電源を供給してください。

4. 電源のオンとオフについて

<エンジン連動による電源オンとオフ>

本機は microSD カードが正しく挿入され、自動録画モードがオンに設定されていると、エンジンに連動して録画を開始/停止をします。

エンジンを停止し、カーシガーソケットの電源が切れると、画面に「電源オフ/駐車監視/キャンセル」が表示されます(下図)。項目を選んでタップで決定してください。何も操作しないで一定時間が経過すると自動的に選択されます。



[電源オフ] .. 電源をオフにします。

[駐車監視] .. 電源がオフ後に待機状態となり、カメラ本体が衝撃を感知すると、約 30 秒間録画をします。ただし、内蔵バッテリーの残量が少なくなると、衝撃を感知しても録画されない場合があります。駐車監視を選択した後すぐにエンジンをかけると自動録画モードで録画が開始されない場合があります。その場合は録画アイコンをタップして録画を開始してください。

[キャンセル] .. 操作を取り消します。

<手動による電源オンとオフ>

【電源オン】本機の裏側にある電源ボタンを長押し(約5秒)すると電源ONとなります。

【電源オフ】電源ボタンを長押し(約5秒)すると録画中のファイルを保存後電源が切れます。

<LCD画面の表示/非表示>

電源オンの状態で電源ボタンを短く押すとLCDモニターの表示をオン/オフにできます。

5. 操作方法と画面について

本機はタッチパネルを採用しています。画面をタッチするとメニューが表示されます。メニューは一定時間画面操作をしないと非表示になります。



メニューアイコン説明

	スタンバイ状態。タップすると録画を開始します。
	録画中。タップで録画を停止します。真ん中の数字は常時録画の設定時間(分)です。
	タップすると静止画を撮影します。録画中でもスタンバイ中でも撮影ができます。
	録画データを表示します。 ※録画中は非表示になります。
	ファイルをロックし、自動上書きされないようにします。作動中は録画マークの横に「SOS」が点滅表示されます。
	タップで各種設定画面を表示します。 ※録画中は操作ができません。
	4つの表示モードの変更ができます。

録画・写真撮影について

- ・手動録画(保存フォルダー:A)・・・録画を押すと録画を行います。
- ・常時録画(保存フォルダー:A)・・・エンジンをかけてから切るまで連続録画を行います。
- ・写真記録(保存フォルダー:pic)・・・をタップすると写真を記録します。
- ・録画データは球面モードで記録されます。
- ・バックカメラ映像は保存フォルダー:Bに保存されます。

ファイルロック、Gセンサーについて

録画中にファイルロックをタップまたは衝撃を検知すると、約30秒間ファイルをロックし、その後通常の録画に戻ります。バックカメラを接続している場合、両方の映像をロックします。衝撃の検知レベルは設定の「Gセンサー」で変更できます。ロックされたファイルはファイル名に「SOS」が付きます。(例:20191219_103808A_SOS.ts)

6. 表示モード

録画中または再生中に表示モード変更アイコンをタップすると、表示モードの変更ができます。



録画する際は、選択したモードに合わせて360°カメラレンズの角度を調節してください。

	ワイドアングルモード	前方を広角で撮影します。
	球体モード	全方位を撮影します。
	フロント&バックモード	球体モードを前方とバックに分けて表示します。
	マルチウィンドウモード	球体モードを前後左右に分けて表示します。

- ・画面内でスライドタッチすると画面表示範囲が動きます(ワイドアングルモードを除く)。
- ・バックカメラ映像は画面上に別枠で表示されます。バックカメラの画面をタップすると全画面表示します。再び画面をタップすると、元の画面に戻ります。

5. 再生する

<本体のモニターで再生>

- ① 画面をタッチして、メニューを表示させます。
- ② 写真アイコンをタップし、再生したい項目を選択してください。
※ページ数の移動は画面を上下にスクロールしてください。

ファイル一覧表示画面



ファイルの削除

削除したいファイルを長押しするとファイルの削除ができます。

再生画面



<パソコンで再生>

機器の電源を切り、microSDカードを抜いて、パソコンで読み込んでください。

写真データ

video/picに保存されています。

動画データ

球面モード表示のまま再生する場合は、通常の動画プレーヤで再生できます。各種表示モードで表示したい場合は、microSDカードのexeフォルダーにある“VeseeSetup.exe”という球面データ再生用アプリケーションで再生してください。

- ① アプリのインストール
画面指示に従いインストールください。
- ② 再生
インストールされたアイコンをダブルクリックして起動させます(右図)。ファイルを追加またはファイルを選んで直接開くか、再生したい動画ファイルを読み込んで再生してください。



画角の変更

画面上の丸印を動かして表示範囲、表示角度を調整して下さい。

サイズ変換出力

カメラ方向、カメラモードを変更して画像を変換して出力します。

6. 設定画面

画面をタッチしてメニューを表示させます。

歯車アイコンをタップすると設定メニューが表示されます。

※録画中は設定の操作ができません。録画を停止してから操作してください。

	常時録画	常時録画時の1ファイル当たりの録画時間を設定します。
	Gセンサー	衝撃センサーの感度。高いほど小さい衝撃を検知します。
	自動録画モード	電源ONで自動録画を開始します。
	音声録音	録画と同時に音声も録音します。
	バックカメラ鏡像	バックカメラの左右を反転します。
	スクリーンセーバ	画面が自動消灯する時間を設定します。
	言語設定	表示言語を設定します。
	音声設定	音量の設定。高いほど音量が大きくなります。
	周波数	地域の商用電波周波数を設定します。
	時間設定	日時を設定します。
	システム設定	フォーマット・・・microSDカードを初期化します。初期化設定・・・設定を初期設定に戻します。
	バージョン	本機のバージョンを表示します。

7. よくあるトラブル

- ・機器動作が不安定・・・3時間以上充電をしてください。また、リセット穴にクリップの先端等を差し込んでリセット操作を行うと復帰する場合があります。
- ・録画出来ない。画面表示しない・・・充電操作、リセットを行ってください。
- ・録画がうまく行われない・・・マイクロSDカードのクラスを確認し、本機にてフォーマットを行ってください。
- ・繰り返し録画されない・・・ロックファイルが一杯になると記録できなくなります。ファイルを削除してください。

8. 仕様 ※仕様は予告なく変更される場合があります。

(同梱物) 本体、スタンド2種類(吸盤式、接着式)、カーシガー電源アダプター、バックカメラ、取り付け用ビス(2本)、両面テープ、取扱説明書(本紙) ※microSDカード別売

レンズ視野角	フロントカメラ:約170度、バックカメラ:約60度 ビデオアングル360°		
タッチパネル	静電容量方式		
メモリー	マイクロSDカード最大32GB、クラス10以上		
ビデオ録画	1440×1440pix、27.5fps	静止画	最大1440×1440pix JPG
バックカメラ	VGA、ケーブル長約6m	音声記録	マイク内蔵
使用環境	温度0~60°C、湿度10~80%	電源	DC5V
カーシガー電源アダプター	12V/24V共用、ケーブル長約3m	内蔵バッテリー	3.7V/300mAh
電源	DC5V	モニター	3インチTFT 854x480
サイズ	[本体]約93×64×33mm(突起部のぞく)約105g [バックカメラ]約φ18.5×22mm(スタンド部のぞく)		

(オプション) ヒューズBOX 接続アダプター

9. サポート

保証書			
型番: CAR360-TF-3SB	ご購入日	年	月
ご購入日が記載された書類(レシート、領収書、納品書、保証書、メール等)のいずれかを必ず保管してください。製品保証を受ける際に必要になります。保証規定についてはブロードウォッチのホームページをご確認ください。	販売店印		
保証期間: お買い上げ日より1年	※お買い上げ時のレシートも一緒に保管してください。		

ホームページ <http://www.broadwatch.jp/>

メール support@broadwatch.jp

電話 050-3786-0010 10:00~12:00 13:00~17:00 ※土日祝除く

※話中の場合はコールバック対応です。※電話対応は混み合いますので、メール対応をおすすめします。

株式会社ブロードウォッチ
BROADWATCH 堺センター 〒590-0961 大阪府堺市堺区寺地町西3丁1-7

MADE IN CHINA